

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権であり、償却原価法(定額法)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却は、定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
投資有価証券	70,000,000	0	0	70,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
(特定資産)				
リサイクルヤード完了工事準備資金	70,000,000	0	70,000,000	0
小計	70,000,000	0	70,000,000	0
合計	170,000,000	0	70,000,000	100,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
定期預金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
投資有価証券	70,000,000	(0)	(70,000,000)	(0)
小計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
合計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	237,288,940	164,667,300	72,621,640
器具備品	20,641,563	17,260,294	3,381,269
合計	257,930,503	181,927,594	76,002,909

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
大阪市債	70,000,000	70,035,000	35,000
合計	70,000,000	70,035,000	35,000